

平成27年度 通報連絡及び公表基準に基づく公表事項（内容については別添参照）

区分	発生日	号機	件名
区分Ⅳ	平成27年 4月29日	—	堀株ステーション（EMS-2）のデータ伝送不良について
	平成27年 5月22日	—	発電所ポスト5（EPO-5）の測定値異常について
	平成27年 7月28日	—	堀株ステーション（EMS-2）のデータ伝送不良について
	平成28年 2月24日	1,2号機 他	テレメータ伝送のうち海水温度等のデータ欠測について
	平成28年 3月25日	—	堀株ステーション（EMS-2）低線量率データの欠測について

平成27年度 通報連絡及び公表基準に基づく公表事項の内容

区分	発生日	号機	内 容
区分Ⅳ	平成27年 4月29日	—	<p>・堀株ステーション（EMS-2）のデータ伝送不良について</p> <p>平成27年4月29日（水）午前7時30分に堀株ステーション（以下、「EMS-2」という。）の測定データについて、北海道原子力環境センター（以下、「環境センター」という。）への伝送不良（欠測）が発生。</p> <p>その後、同日午前7時40分に自然復旧したが、EMS-2のデータが何らかの影響で伝送不良になっていることから、原因調査のため、同日午前8時20分より環境センターへのテレメータ伝送を停止した。</p> <p>原因調査後復旧作業を実施し、データ伝送に欠測が発生しないことを確認したことから、平成27年6月9日17時10分に環境センターへのテレメータ伝送を開始した。</p> <p>EMS-2の測定データは、EMS-2に設置されているテレメータ装置（子局）（以下、「子局」という。）からNTT専用回線および所内回線を介して泊発電所に設置されているテレメータ装置（親局）（以下、「親局」という。）に伝送され、親局は1分周期で測定データを収集している。</p> <p>調査の結果、回線上に雑音を確認されたことから、この雑音の原因となって、伝送不良に至ったものと推定した。</p> <p>この対策として、EMS-2の親局と子局間の回線で雑音が重畳する可能性のある部分を雑音に強いシールド付きケーブルに張替えた。</p>
	平成27年 5月22日	—	<p>・発電所ポスト5（EPO-5）の測定値異常について</p> <p>平成27年5月22日（金）11時30分に発電所ポスト5（以下、「EPO-5」という。）の測定データについて、北海道原子力環境センター（以下、「環境センター」という。）への伝送データが一時的に異常な数値である1,907nGy/hに急上昇後、急降下（スケールダウン）し、その後、11時40分に欠測が発生。</p> <p>原因調査のため、同日12時10分より環境センターへのテレメータ伝送を停止し、その後の復旧作業により、平成27年5月23日（土）午前0時10分に伝送を再開した。</p> <p>原因調査の結果、低線量率計[*]の不具合により測定値の異常および伝送データの欠測が生じたことが判明したことから、低線量率計の取替を実施した。</p> <p>※低線量率計 検出器からの信号を線量率データ（nGy/h）に処理する装置。</p>

区分	発生日	号機	内 容
区分Ⅳ	平成27年 7月28日	—	<p>・堀株ステーション（EMS－2）のデータ伝送不良について</p> <p>平成27年7月14日（火）から堀株ステーション（以下、「EMS－2」という。）の測定データの通信品質（耐雑音性）を向上させるための作業を実施していたが、作業終了に伴い、平成27年7月28日（火）17時20分に北海道原子力環境センター（以下、「環境センター」という。）への伝送を再開した。</p> <p>その後、同日18時50分に以下の測定データについて伝送不良（欠測）が発生。 原因調査のため、同日19時10分より環境センターへのテレメータ伝送を停止した。</p> <p>原因調査後復旧作業を実施し、データ伝送に欠測が発生していないことを確認したことから、平成27年9月3日11時00分に環境センターへのテレメータ伝送を開始した。</p> <p>EMS－2の測定データは、EMS－2に設置されているテレメータ装置（子局）（以下、「子局」という。）からNTT専用回線および所内回線を介して泊発電所に設置されているテレメータ装置（親局）（以下、「親局」という。）に伝送され、親局は1分周期で測定データを収集している。</p> <p>調査の結果、所内回線のケーブル接続箇所に劣化の兆候が見られたことから、当該部位の劣化により、データ伝送に影響を与えたものと推定した。</p> <p>なお、データ伝送に万全を期すため、新しいケーブルを準備し、ケーブルの張替えおよび回線切替えを行い、ケーブルに異常のないことを確認するとともに、その後のデータ伝送に欠測が発生していないことを確認した。</p>
	平成28年 2月24日	1,2号機 他	<p>・テレメータ伝送のうち海水温度等のデータ欠測について</p> <p>平成28年2月24日（水）午前6時20分および午後0時50分に海水温度観測用ブイ基地局（以下、「基地局」という。）の測定データについて、泊発電所から北海道原子力環境センター（以下、「環境センター」という。）へのデータ伝送不良が発生。</p> <p>その後、原因調査のため、同日午後1時20分より環境センターへのテレメータ伝送を停止した。</p> <p>原因調査後、復旧作業を実施し、平成28年2月26日（金）午後7時10分に環境センターへのテレメータ伝送を開始した。</p> <p>海水温度関係の測定データは、基地局に正10分毎に収集されている。 基地局は、この測定データを正10分毎にテレメータ送信局（以下、「送信局」という。）に伝送し、送信局により環境センターに伝送している。</p>

区分	発生日	号機	内 容
区分Ⅳ			<p>平成28年2月23日に、既設の送信局から環境センターへのテレメータ伝送を継続しながら、デジタル化した新設の送信局でテレメータ伝送試験を実施するために、基地局と送信局の間に中継装置を設置し伝送を開始した。</p> <p>調査の結果、この中継装置の通信方式設定が既設送信局の設定と適合していない部分があったため、正常に伝送ができない場合があることがわかった。</p> <p>このことから、中継装置の通信方式設定を修正した。</p>
	平成28年 3月25日	—	<p>・堀株ステーション（EMS-2）低線量率データの欠測について</p> <p>平成28年3月25日（金）午後11時50分に堀株ステーション（EMS-2）の低線量率データについて、北海道原子力環境センター（以下、「環境センター」という。）への伝送データの欠測が発生。</p> <p>原因調査のため、3月26日（土）午前0時00分より環境センターへのテレメータ伝送を停止し、その後の復旧作業終了により、同日午後6時20分に伝送を再開した。</p> <p>調査の結果、低線量率計※の不具合により測定値の異常および伝送データの欠測が生じたことが判明したことから、低線量率計の取替を実施した。</p> <p>※低線量率計 検出器からの信号を線量率データ（nGy/h）に処理する装置。</p>

以上